



# PTAだより

2019年11月発行

<3号>

岡山県立倉敷南高等学校PTA

## 全国高等学校PTA連合会大会京都大会に参加して

PTA会長 中畑孝次

8月22日、23日京都で開催された全国大会に参加してきました。全国から10000人を超えるPTAが参加し、会場を6つに分けて全体会と分科会が行われました。倉敷南高校は第6分科会「我が子の進路選択にどう向き合う?～入試が変わる、授業が変わる…動き出した教育改革～」というテーマの分科会に参加しました。



リクルート「キャリアガイダンス」編集長の山下真司さんの講演を聞きました。今は当たり前になっているものであるが20年前はどうだったかを振り返りながら話がありました。500円玉は1982年に発行、初代プリウスが1997年に登場するなどです。これから20年後の社会はどうなっていくのか、大きく変化するのは言うまでもありません。社会そのものが大きく変わる中で学校教育も大きく変わっていきます。そして学びの形も変わっていきます。つまり、これまでのように教科書の内容を覚えるだけでは対応できない時代になる、というお話でした。学習指導要領は改訂されましたが、今求められるのは、「どのように学ぶか」、そして、「学んだことをどう生かすか」であり、「学ぶ目的」を持つことや、「自らが課題を見つけてそれに対する解決策を見つけること」ということが印象に残りました。

また一般社団法人教育デザインラボ代表理事の石田勝紀さんからは「自己肯定感を引き上げる10のマジックワード」というタイトルで、家庭での会話によって子供の「やる気」が変わってくるというお話を聞きました。「すごいね」「さすがだね」「いいね」「ありがとう」「うれしい」「助かった」「なるほど」「知らなかった」「大丈夫」「らしくないね」など、これらの言葉は特別な言葉ではないけれども、普段の生活の中では子どもたちに向かってそんなには使っていないな、と気づかされました。思っている言葉としてなかなか発することがないので、まずは思ったことを自然にさりげなく言うことからやってみようと思いました。

人材育成のための最大原則は「いいところを更に伸ばす」ことだそうです。このことによって心が満たされて「欠点を自己修正していく」そうです。

明日から一つでもいいので音にしてみようと思います。

## 葦岡祭へのご協力ありがとうございました\*

P T A副会長 杉山美恵

昨年度は台風に悩まされた葦岡祭でしたが、今年度は天候に恵まれ、晴天の下3日間無事予定通り開催されました。

役員、評議員の皆さまにお手伝いいただき、9月3日の文化祭初日はぶっかけうどん、たこ焼き、ナゲット、フランクフルト、タピオカドリンク、おにぎり、たい焼き、パン、アイスクリーム、ジュースの販売を行いました。



流行を取り入れて初めて挑戦したタピオカドリンクや毎年好評のたい焼きなどあっという間に売り切れるものもあり、生徒の皆さんが楽しそうに飲んだり食べたりしているのを見ると大変だった準備も報われる気がして嬉しく思いました。

フリーマーケットには保護者の皆さまよりたくさんの品物の寄付があり、大変賑わいました。ご協力に感謝いたします。

2日目の文化祭では移動販売車のベーカリーパンダさんにパンの販売をご協力いただきました。



3日目の体育祭ではジュースの販売を行いました。暑さもあり、早々に完売となりました。

3日間の収益は卒業生の胸元を飾るコサージュの材料に使わせていただくとともに、昨年の豪雨災害への義援金にさせていただきます。お世話になりました先生、役員、評議員、P T A会員の方々に心からお礼申し上げます。

今度ともP T A活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

